令和 2 年度　公益社団法人大気環境学会　事業報告

（令和 2 年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日）

1. 会員の状況

種　別	令和 2 年 6 月 30 日	令和 3 年 6 月 30 日	差引増減（△）
正 会 員	764 名	746 名	△18 名
法人会員 A	119 名	120 団体	1 団体
法人会員 B	49 名	48 団体	△1 団体
学生会員	48 名	74 名	26 名
賛助会員	16 団体（19 口）	16 団体（17 口）	-

正会員数は、令和元年度は 45 名の減少であったが、令和 2 年度は 18 名の減少になった。

学生会員は、令和元年度は 43 名の減少であったが、令和 2 年度は 26 名の増加になった。

2. 年会報告

第 61 回大気環境学会年会を、令和 2 年 9 月 14 日（月）から 10 月 4 日（日）にかけて、誌上開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、年会としては初めての誌上開催となった。参加登録は 264 名であり、内訳は正会員 184 名、学生会員 45 名、法人会員 A8 名、法人会員 B12 件、賛助会員 4 名、名誉会員 0 名、非会員 11 名であった。一般発表件数は 205 件であり、特別集会 2 件（講演 11 件）、分科会 8 件（講演 32 件）が実施された。企業協賛は、講演要旨集や年会ホームページへの広告掲載として 17 社にご協力頂いた。コロナ禍における開催は、前例なき対応の連続であり、企画数、参加者数、協賛数の予測が困難であったが、多くの皆様のご支援、ご参加によって開催できた。

3. 総会開催

令和 2 年 9 月 17 日に東京都北区王子 1-11-1 北とぴあ第 2 研修室にて、令和 2 年度総会を開催した。審議及び報告事項は以下の通りである。

１）令和元年度事業報告、収支決算報告及び監査報告

米持真一常任理事より令和元年度事業報告があり、中井里史常任理事より令和元年度収支決算報告があり、野口 泉監事より監査報告がなされた。議長より質疑を求めた後、これらの報告を全員一致で決議した。

２）令和 2 年度事業計画及び収支予算について

米持真一常任理事より令和 2 年度事業計画が報告され、中井里史常任理事より令和 2 年度収支予算の説明がなされた。事業計画及び収支予算については、定款第 35 条により、事業年度開始前に理事会を開催し、既に承認されているため、本総会では事後報告であった。

３）名誉会員の推戴

大原利眞会長より、村野健太郎会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

４）第62回大気環境学会年会開催地

第62回大気環境学会年会を令和3年9月15～17日に、年会長を大原利眞会員（国立環境研究所）として開催する予定であること、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からWeb開催とすることが報告され、承認された。

５）第63回大気環境学会年会開催地

第63回大気環境学会年会を令和4年9月に大阪府立大学を主会場とし、年会長を竹中規訓会員（大阪府立大学大学院）として開催する予定であることが報告され、承認された。

4. 理事会等開催

4.1. 理事会

１）定例の会議の開催

第１回：令和２年８月 12 日　 Web 会議

審議内容：令和元年度事業報告、収支決算、監査結果、編集委員会報告、総会案内（確定版）、入退会希望者等の承認、第 61 回年会の開催準備状況、役員選挙結果、「大気環境未来 60」事業等

第２回：令和２年９月 29 日　 Web 会議

審議内容：役員選出、入会希望者等の承認、ＡＪＡＥ委員会の新委員長承認、令和２年度編集委員会構成案等

第３回：令和３年６月 25 日　Web 会議

審議内容：令和３年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資見込、入退会希望者等の承認、令和３年度定時総会の開催方法と議案、名誉会員の推戴、役員の業務遂行報告等

２）令和元年度事業報告及び収支決算の承認（第１回理事会）

それぞれ、原案の通り承認された。

３）令和３年度事業計画及び収支予算の承認（第３回理事会）

それぞれ､原案の通り承認された｡この結果を受け令和３年６月 30 日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

４）名誉会員の推戴について

伊豆田 猛会長から提案があり、推戴に関する推薦書をもとに、令和３年度第１回理事会で審議することとなった。

4.2. 常任理事会

１）定例の会議の開催

第１回：令和２年８月７日及び 11 日、第２回：令和２年 10 月 21 日、第３回：令和２年 12 月 18 日、第４回：令和３年４月 22 日、第５回：令和３年６月 11 日　(第４回以外は Web 会議)

第４回については、公益社団法人大気環境学会常任理事会に関する規程第６条第３項に基づく常任理事会の決議の省略の方法によりメール審議とした。また、適宜メール等により必要事項を協議した。

5. 支部長会

令和２年８月 12 日、Web 会議にて開催し、各支部の報告が行われた。

6. 出版等

１）大気環境学会誌

第 55 巻４号～第 56 巻３号の計６号（電子ジャーナル）を刊行した。これに加え、第 55 巻１号～6 号をまとめた POD 版（冊子体）を２月に発刊し、法人会員と賛助会員に配付した。

２）第 61 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）した。

３）Asian Journal of Atmospheric Environment（AJAE）の Vol.14 No.3、No.4、Vol.15 No.1、No.2 を発行した。

４）「大気環境の事典」の増刷を行った。

7. 委員会開催

7.1. 倫理委員会

委員長から、旧委員に任期の確認を行なうとともに、4名の委員会メンバーを確定した。

7.2. 国際交流委員会

韓国大気環境学会主催によるオンライン国際シンポジウム「Post COVID-19 and air pollution」に協力した（令和２年 10 月 22 日開催）。また、韓国大気環境学会および中国環境科学学会大気分会と AJAE に関する Web 打合せを行った（第１回：令和３年２月６日、第２回：令和３年４月７日）。

7.3. 学会賞選考委員会

令和 3 年 5 月 31 日を締め切りとして、令和 2 年度の大気環境学会賞の公募を行なった。学会賞選考委員会（令和３年６月 11 日、Web 会議）を開催し、各賞の選考を行い選考結果を常任理事会に報告した。

7.4. 編集委員会（編集実務委員会）

１） 定例の会議の開催

定例の会議を開催して学会誌の編集企画を行い、計6号（第55巻第4号～第56巻第3号）を刊行した。また、適宜メール審議により必要事項を協議した。

第1回：令和2年7月31日、第2回：令和2年12月1日、第3回：令和3年2月5日、第4回：令和3年4月2日、第5回：令和3年6月3日

２）論文審査

令和2年度に投稿のあった18論文について、掲載可否の審査を行った。

３）入門講座等の企画・掲載

入門講座を企画、掲載した。また、あおぞら、支部・分科会だより、研究室紹介を毎号掲載した。

４）その他

入門講座および解説のダウンロード販売を行った。J-STAGEの閲覧データを解析し、ホームページ上に

J-STAGEアクセスランキングを掲載した。

7.5. 論文賞選考委員会

１）論文賞の選考対象論文

大気環境学会誌第 55 巻および AJAE 第 14 巻に掲載された論文とした（全 27 編）。編集委員による推薦（一次評価）と論文賞選考委員会における選考（二次評価）の 2 段階選考とした。

２）論文賞の選考

一次および二次評価を受けて、論文賞選考委員会（令和 3 年 6 月 7 日）を開催し、最優秀論文賞 1 編、部門別論文賞 4 編(技術調査部門、ノート・速報部門、学生・若手部門、AJAE 部門)を論文賞候補として常任理事会に推薦した。

7.6. 広報委員会

第 3 回常任理事会（令和 2 年 12 月 18 日)にて委員会メンバーを確定し、第 1 回広報委員会を令和 3 年 5 月 12 日に開催した。研究成果の社会還元のための広報活動、会員増強のための広報活動、次世代研究者確保のための広報活動、関連他学会との連携と差別化等について検討した。

7.7. 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

第 3 回常任理事会（令和 2 年 12 月 18 日)にて委員会メンバーを確定し、第 1 回委員会を令和 3 年 5 月 27 日に開催した。委員会の名称も含め、大気環境学会の改革、社会的なアピールに向けた活動内容を議論した。

7.8. AJAE 委員会

Asian Journal of Atmospheric Environment (AJAE)の Vol.14 No.3, No.4, Vol.15 No.1, No.2 を発行した。

7.9. 「大気環境未来 60」募金委員会

令和 3 年 7 月 9 日を締め切りとして、令和 2 年度の「大気環境未来 60」募金を活用した事業の公募を行い 2 件の応募があった。

7.10. 年会委員会

6 名の委員を選出した。また、年会委員会を代表して、奥田知明委員長が第 62 回大気環境学会年会の実行委員会に出席した（令和 2 年 11 月 18 日、11 月 26 日、令和 3 年 1 月 21 日、3 月 8 日、4 月 28 日、6 月 1 日、6 月 3 日)。

7.11. 地方環境研究所等委員会

非会員を対象としたアンケート調査を関東支部講演会で 2 回実施した（令和 3 年 3 月 16 日、5 月 28 日)。地方環境研究所の学会活動の活性化について、メール審議を行うとともに、令和 3 年 6 月 14 日に Web 会議を開催した。

8. 支部報告

8.1. 北海道・東北支部

１）支部総会、支部学会等：令和 2 年 11 月 9 日（Web 開催）

① 支部総会：令和元年度支部活動報告及び決算報告、理事選挙の報告、監事、幹事の選出・承認、新支部長

および新副支部長の決定、および令和 2 年度支部活動方針及び予算案の承認

② 支部学会：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2）支部ホームページ

過去の支部学術集会要旨集を掲載した。

8.2. 関東支部

1）支部総会：令和 3 年 5 月 28 日（Web 開催（国際文献社会議室を起点に実施））

議事：令和 2 年度支部・部会活動報告、令和 2 年度中間会計報告、令和 3 年度活動計画案、令和 3 年度予算案. 参加者 180 名（うち委任状 119 名）

2）支部役員会：第 1 回（令和 2 年 11 月 17 日：Web 開催)、第 2 回（令和 3 年 1 月 25 日：Web 開催)、第 3 回（令和 3 年 2 月 4 日：メール審議)、第 4 回（令和 3 年 5 月 20 日：Web 開催).

3) 支部講演会：令和 3 年 5 月 28 日（Web 開催）

テーマ：「最近の気になる大気環境問題」、講演 4 件、参加者約 150 名

4) 部会活動報告（順不同）

新たな部会の新設・継続申請を経て 5 つの部会が承認され、以下の活動を行った。

① 大気沈着部会

講演会「第 32 回酸性雨東京講演会（共催：酸性雨分科会、酸性雨研究会」の開催　令和 3 年 6 月 15 日（Web 開催）テーマ：「反応性窒素の大気沈着について考える（第 4 回)」、講演 3 件、参加者 37 名.

② 大気質調査部会

新型コロナウイルス感染の影響を鑑み、講演会は開催しなかった.

③ 粒子状物質部会

講演会（共催：関東地方大気環境対策推進連絡会微小粒子状物質調査会議）の開催　令和 3 年 3 月 16 日(Web 開催）テーマ：「$PM_{2.5}$ と光化学大気汚染の接点と課題」、講演 3 件、参加者：99 名.

④ 植物影響部会

講演会（共催：植物分科会）の開催　令和 3 年 1 月 18 日(Web 開催）テーマ：「植物を起源とする揮発性有機化合物（BVOC）の大気環境への影響」、講演 2 件、参加者 31 名

⑤ 科学コミュニケーション部会

講演会の開催　令和 3 年 5 月 20 日(Web 開催）　テーマ：「科学コミュニケーションって何？ -“つたえる・つくる・つなぐ”の概念と実践-」、講演 4 件、参加者 80 名

8.3. 中部支部

1）評議員会：令和 2 年 12 月 3 日～12 月 11 日（メール審議）

議題：令和 2 年度中部支部総会へ提出する議題・資料について

2）支部総会: 令和 2 年 12 月 22 日（Web 開催、委任状含めて参加者 35 名）

議題：令和元年度の事業報告・決算報告・会計監査の報告、令和 2 年度事業経過報告、令和 2 年度決算見込みについて、第 61 回大気環境学会年会の開催報告、令和 3 年度事業計画（案）・予算（案）、支部役員の選挙方法について（支部規約の改正）、その他

３）公開講演会：令和２年 12 月 22 日（Web 開催、講演２件、参加者 76 名）

8.4. 近畿支部

１）支部総会：令和２年９月８日、大阪大学工学研究科オープンイノベーションオフィス、令和元年度事業・収支決算報告、委員会・部会報告、令和２年度計画・予算の承認

２）理事会・運営幹事会：第１回（令和２年９月８日）、第２回（令和３年１月 26 日）

３）委員会・部会活動

①学術委員会：支部研究発表会の開催 令和２年 12 月 21 日(Web 開催)一般発表 19 題、特別講演１題（梶井克純「HOx ラジカルを追い求めて：光化学オキシダント生成機構の検証と定量化」）

②情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営

③気象拡散部会：講演会の開催　令和３年５月 28 日（Web 開催）

テーマ：「放射性物質の環境動態と影響評価」、講演２件、参加者 26 名

④反応と測定部会：講演会の開催　令和３年５月 17 日（Web 開催）

テーマ：「大気粒子の酸化能」、講演２件、参加者 27 名

⑤人体影響部会：セミナーの開催　令和３年３月 25 日（Web 開催）

テーマ：「大気汚染物質と妊婦・子どもの健康影響」、講演２件、参加者 21 名

⑥エアロゾル部会・植物影響部会：合同講演会の開催　令和３年５月 21 日（Web 開催）

テーマ：「気候変動及び大気汚染による植物影響」、講演３件、参加者 34 名

8.5. 中国・四国支部

１）支部総会：令和３年５月 15 日（支部ホームページへの資料掲載による開催）

令和２年度事業報告・収支決算報告及び令和３年度事業計画・予算計画について

２）大気環境学会・日本水環境学会・廃棄物資源循環学会中国・四国支部合同講演会

令和元年度の開催予定が延期になっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響によって引き続き当面延期

３）支部ニュースレター

令和３年３月、５月、６月の３回配信

8.6. 九州支部

１）支部総会：令和３年３月 12 日（メールにより議事を進行し、メール返信によって承認を確認した。）

議事：令和元年度事業実施報告及び収支決算報告、令和２年度事業計画及び予算、支部規約の改正、九州支部役員の交代

２）支部役員会

令和３年３月４日（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メールを利用して議事を進行し、メール返信によって承認を確認した。）

議事：令和元年度事業実施報告及び収支決算報告、令和２年度事業計画及び予算、支部規約の改正、支部役員の交代

３）支部研究発表会　令和３年３月 12 日（Web 開催）

室内環境学会九州支部と合同で研究発表会を開催した。演題８件（大気環境５件、室内環境３件）、参加者

60 名

9. 分科会等報告

9.1. 植物分科会

１）講演会の開催（関東支部植物影響部会との共催）　令和 3 年 1 月 18 日（Web 開催）

テーマ：「植物を起源とする揮発性有機化合物(BVOC)の大気環境への影響」、講演 2 件、参加者 31 名

２）世話人会の開催

令和 2 年 9 月 2 日、令和 3 年 2 月 26 日、5 月 11 日に開催

9.2. 大気環境モデリング分科会

１）年会分科会　令和 2 年 9 月 14 日～10 月 4 日（誌上）

テーマ：「令和 2 年船舶燃料油硫黄分の規制強化から期待される大気質改善効果」講演 7 件

9.3. 酸性雨分科会

１）年会分科会　令和 2 年 9 月 18 日（Web 開催）

テーマ：「山岳・高山地域における湿性沈着・乾性沈着の調査・研究」、講演 2 件、参加者 76 名

２）第 32 回酸性雨東京講演会（関東支部大気沈着部会、酸性雨研究会との共催）の開催

令和 3 年 6 月 15 日（Web 開催）

テーマ：「反応性窒素の大気沈着について考える（第 4 回）」、講演 3 件、参加者 37 名

３）関西講演会の開催　令和 3 年 3 月 2 日（大阪府立環境農林水産総合研究所および Web 開催）

（近畿支部植物影響部会・エアロゾル部会、酸性雨分科会との共催）

テーマ：「気候変動及び大気汚染による植物影響」、講演 3 件、参加者 34 名

４）メールニュースの発行

457～469 号まで 13 回発行（メール会員 239 人・令和 3 年 6 月 23 日現在）

9.4. 環境大気モニタリング分科会

１）講演会（第 48 回研究会）の開催　令和 3 年 3 月 18 日（Web 開催）

テーマ：「COVID-19 感染症流行が大気質に与えた影響」、講演 3 件、参加者 88 名

２）幹事会の開催

令和 2 年 12 月 24 日：第 48 回研究会の企画、テーマ、構成について検討した。

令和 3 年 4 月 2 日および 6 月 4 日：年会分科会の企画、テーマ、構成について検討した。

9.5. 健康影響分科会

1)　年会分科会（誌上）

テーマ：「大気環境と感染症」、講演 3 件

9.6. モビリティ環境分科会

１）名称の変更

分科会名称を「自動車環境分科会」から「モビリティ環境分科会」に変更し、大気環境とモビリティの係わりを広く取り上げる体制を整えた。

２）年会分科会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

9.7. 室内環境分科会

１）年会分科会　令和 2 年 9 月 25 日（Web 開催)

テーマ：「新型コロナウイルスの感染対策と室内環境」、講演 3 件、参加者 32 名

２）講演会

令和 2 年 5 月 22 日に予定していた公開講演会（テーマ「加熱式たばこの現状と研究動向」）について、新型コロナウイルス感染拡大のため、告示直前の令和 2 年 3 月末に延期を決定した。

9.8. 放射性物質動態分科会

１）講演会の開催　令和３年３月25日（福島県郡山市ビッグアイ）

テーマ：「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能大気汚染―これまでとこれから」講演7件、参加者46名

9.9. 臭気環境分科会

１）年会分科会（誌上）

テーマ：「臭気対策行政の最新動向」、講演 3 件

9.10. 都市大気エアロゾル分科会

１）年会分科会　令和 2 年 9 月 18 日（Web 開催）

テーマ：「大気エアロゾルの粒径を改めて考える」、講演 3 件、参加者 56 名

9.11. 気候変動研究会

１）年会特別集会（誌上）

テーマ：「気候変動の影響と自治体の対策について」、講演 5 件

令和２年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

令和3年7月

公益社団法人　大気環境学会